

令和7年度 木の香る淡海の家推進事業実績の概要



令和8年3月

県産木材活用推進協議会

令和7年度 木の香る淡海の家推進事業実績

- 1) 7年度事業の概要
- 2) びわ湖材使用量の確認
- 3) 募集時期、地域（市町）別決定戸数
- 4) 工務店、納材業者別建築戸数

〈はじめに〉

平成21年度からスタートした助成金制度による「木の香る淡海の家推進事業」は17年目となった。この間、びわ湖材の流通拡大と安定取引を図るため、当事業の普及ならびに制度内容の周知に努めてきたところである。制度の定着とともに、製材業者や工務店からの当事業に対する期待はますます高まっており、当事業が県内の木材業界を力強く下支えしているとともに、びわ湖材の活発な流通に大きく寄与しているものといえる。

住宅等新設助成、木質化改修ならびに木塀設置の助成を決定する審査会は原則月1回開催し、3月に4月1日以降着工する案件について事前審査を行い、その後4月から1月の間に計10回開催した。毎回実施される審査会は7名（森林組合連合会、建設業協会、建築士会、建築住宅センター、建築組合、木材協会、びわ湖材流通推進課）の審査員で構成され、締切り後の早い時期に、提出書類を審査し、条件に合致し、不備がなければ助成を決定し、その後、決定者に対して、事業目的、提出書類、現場確認、注意事項等について個別に説明することに努めた。

各団体の協力を得て、各組合員にチラシを配布するなど普及宣伝を行った結果、新たな工務店等からの申請も増え、20 m³以上の申請が増えたが、住宅着工率の低下などの影響に加え、改正建築基準法等が令和7年4月1日に施行され提出書類の増加などにより、4月から5月までの申請件数が極端に減少し、下半期に持ち直したが住宅等新設の申請件数は、7 m³以上使用が69件（前年度73件）、15 m³以上20 m³未満が14件（前年度21件）、20 m³以上使用が31件（前年度22件）で、昨年度の実績と同じ114件となった。

また、林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示のガイドライン」に準拠し、びわ湖材の炭素貯蔵量と木材全体の炭素貯蔵量についても表示を求めた。新設助成でのびわ湖材の炭素貯蔵量は1,060.4t-Co₂（対前年比25.4 t-Co₂、2.5%増）となった。

1) 令和7年度事業の概要

滋賀県における森林の多面的機能の発揮と「びわ湖材」の普及啓発および円滑な流通を促進するため、以下の内容で事業を行った。

① 住宅等新設助成

（助成の内容）

区分	1戸当たりのびわ湖材の使用量	助成金額	びわ湖材の使用基準
I	7.5 m ³ 以上 15 m ³ 未満	30万円	構造材 3 m ³ 以上使用
II	15 m ³ 以上 20 m ³ 未満	40万円	構造材 5 m ³ 以上使用
III	20 m ³ 以上	50万円	構造材 7 m ³ 以上使用

※1戸建て専用住宅等（事務所、商店が対象に追加）で、バリアフリーに配慮

①構造材とは、土台、大引、柱（通、管）、梁（小屋梁含む）、桁、胴差、母屋、棟木、隅木、小屋束、火打、方づえ等とする。

②びわ湖材製品も助成対象とする（針葉樹合板、集成材）

②既存住宅等木質化改修

（助成の内容）

区 分	1 m ² あたりの助成金額	備 考
既存住宅等の 木質化改修	3千円	助成金上限額は、1戸あたり20万円とする。 なお、算出した助成金の金額に千円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

※「木質化改修」とは、既存住宅等の内装、外装の改修および耐震改修をいう。

- ①「内装」とは、住宅内部の床面、壁面、および天井面をいい、「外装」とは住宅外部の壁面等をいう。
- ②「内外装仕上材」とは、内装および外装の仕上げとして施工される厚さが9ミリメートル以上のびわ湖材またはびわ湖材製品である板類等をいう。
- ③「耐震改修」とは、びわ湖材等の柱材、平割材、構造用合板等により補強することをいう。

③住宅等の木塀設置

（助成の内容）

区 分	1 m ² あたりの助成金額	備 考
木塀設置	5千円	助成金上限額は、1戸あたり30万円とする。 なお、算出した助成金の金額に千円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

※「木塀」とは、塀、柵、その他これに類する外構施設で、木材を用いた工作物

※助成面積の算出：木塀の施工面積のうち、びわ湖材の鉛直投影面積により算出する。

2) びわ湖材使用量の確認

■書類審査

工務店から提出していただく申請書には、びわ湖材使用計画書および貼付図面（平面図、立面図、伏せ図等）に使用箇所、部材名、寸法、規格が分かるようにしておくとともに、納材業者（びわ湖材取扱業者）の納材確約書の添付を義務付けている。

■現地確認

上棟または改修工事・設置工事が終了し、びわ湖材の使用が概ね完了した時点で、現地の確認を協議会が実施している。この時、びわ湖材証明書の提出を義務付けている。

現地確認は、申請書類（主にびわ湖材利用計画書）に基づき実施しているが、申請時と上棟時等で使用量が異なる場合は、実際の利用実績を提出させ、それに基づき確認を行っている。

3) 募集期間と助成決定・確定状況、地域（市町）別確定戸数

令和7年度の募集時期は、3月1日から3月20日に4月1日以降に着工する案件について事前審査を行い、第1回目を4月1日から4月17日、第2回目を4月18日か

ら5月31日までとし、その後、11月までは毎月月末締めとし、12月2日から12月16日まで、12月17日から1月16日で締切り、合計11回の募集を行った。

① 募集期間と助成の決定状況

(住宅等新設助成)

募集回	募集期間	助成決定戸数等		
		新築等	木質化改修	木塀設置
3月募集	3月 1日～ 3月19日	5	0	1
第1回募集	4月 1日～ 4月17日	6	0	0
第2回募集	4月18日～ 5月31日	8	0	0
第3回募集	6月 1日～ 6月30日	11	0	2
第4回募集	7月 1日～ 7月31日	13	2	0
第5回募集	8月 1日～ 8月29日	20	0	4
第6回募集	9月 1日～ 9月30日	10	0	1
第7回募集	10月 1日～ 10月31日	11	1	0
第8回募集	11月 1日～ 11月28日	13	0	3
第9回募集	12月 1日～ 12月16日	7	0	0
第10回募集	12月17日～ 1月17日	10	0	1
合計		114	3	12

② 助成確定状況 (助成実績)

住宅等新設助成の申請戸数114戸に対し、要件を満たさない申請が1件、取り下げが1件発生し、助成確定戸数は112戸の実績であった。

また、木質化改修助成の決定戸数3戸、木塀設置助成の決定戸数12戸の実績であった。

(住宅等新設助成)

びわ湖材使用数量別実績戸数 (戸)				助成額 (千円)	びわ湖材 使用量 (m ³)	びわ湖材の 炭素貯蔵量 t-CO ₂
7.5 m ³ ～ 15 m ³ 未満	15 m ³ ～ 20 m ³ 未満	20 m ³ 以上	計			
67	14	31	112	41,200	1,567.87	1,060.4

(木質化改修)

助成実績戸数 (戸)	助成額 (千円)	内装木質化面積 (m ²)
3	551	324.90

(木塀設置)

助成実績戸数 (戸)	助成額 (千円)	鉛直投影面積 (m ²)
12	2,146	473.28

地域（市町）別 助成確定 （単位：戸）

市 町 名	新築	改修	木塀
大 津 市	15	0	0
彦 根 市	10	1	2
長 浜 市	31	0	1
近江八幡市	6	0	3
草 津 市	5	0	0
守 山 市	2	0	0
栗 東 市	4	0	0
甲 賀 市	8	1	2
野 洲 市	2	0	0
湖 南 市	1	0	0
高 島 市	5	0	1
東 近 江 市	5	1	1
米 原 市	9	0	0
日 野 町	0	0	2
竜 王 町	1	0	0
愛 荘 町	2	0	0
豊 郷 町	3	0	0
甲 良 町	0	0	0
多 賀 町	3	0	0
実績合計	112	3	12

住宅等新設については、長浜市が31戸(27.7%)と最も多く、次に大津市15戸(13.4%)、彦根市10戸(8.9%)、米原市9戸(8.0%)、甲賀市8戸(7.1%)と続く。この5市で全体助成件数の65.2%を占めた。

住宅等新設助成対象でのびわ湖材の使用量は、約1,568 m³となり、昨年度に比べ20.1 m³の増となり、1戸当たりのびわ湖材平均使用量についても、過去最高となった。

R7 : 14.00 m³ R6 : 13.6 m³ R5 : 11.80 m³ R4 : 11.74 m³ R3 : 12.10 m³

木質化改修では、助成件数が昨年と同数の3件で、木質化改修面積は324.90 m²であった。木塀設置では、助成件数が12件となり、鉛直投影面積は473.28 m²であった。

4) 工務店（新築戸数）、納材業者（びわ湖材納入材積、納入戸数）

工 務 店	単位：戸
内保製材(株)	1 5
グラスソ (株)	1 3
(株)安田工務店	1 2
(株)スムーズ	7
北川建築	4
松井建設(株)	4
あしづかホーム (株)	3
(株)湖都コーポレーション	3
(株)つかした建築	3
(有)西川技建工業	3
(株)ハクイ工房	3
(株)ふじもと建築	3
(株) マルイチ	3
(有)ネヌケン	2
(株)リヴァイズホーム i	2
その他 1 戸	3 2
計 (47 工務店)	1 1 2

納材業者	m ³	戸
(株)スンエン長浜	253.99	2 1
内保製材 (株)	274.62	1 5
鳥居木材 (株)	207.63	1 1
(株)シガウッド	173.89	1 6
(株)土山木協	128.51	6
山田木材(株)	82.24	4
グリーンウッドタキ協同組合	81.93	7
(株)八興	59.93	6
丸松木材(株)	48.56	6
(株)スンエン関西	46.05	4
(株) I T O G E N	40.27	2
三栄木工 (株)	32.38	1
(株) 三品幸材木店	18.42	2
岡本木材(株)	15.85	1
丸和産業(株)	15.73	1
(有)八木商店	14.74	2
(有)川井製材	10.04	2
(株)若松工務店	8.43	1
上田産業(株)	8.36	1
(株)滋賀原木	8.36	1
甲賀林材(株)	8.09	1
(株)モチヅキ	7.98	1
滋賀ナイス	7.93	1
坂矢木材 (株)	7.64	1
太田木材 (株)	6.30	1
計(25 事業体) (1,567.87 m ³)		